

**令和5年度  
郷土資料館  
事業実績報告書**

令和5年度事業実績報告書 事業分類番号一覧

担当	大分類	中分類	小分類	細分類	ページ番号
業務担当	1 世代共通	1 学習分野	1 いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。	16 郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実	業務担当1
				17 広報活動の充実(ホームページ・郷土資料館たより)	業務担当2
				18 郷土学習の支援	業務担当3
		2 芸術文化分野	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	17 郷土研究会等の育成	業務担当4
				09 郷土資料の収集・整理・保存・調査研究	業務担当4
				10 歴史や自然に関する調査研究	
				11 ふるさと講座	業務担当5
				12 加賀家文書歴史講座	業務担当7
				13 特別展・企画展	
				14 郷土学習出前講座	業務担当8
				15 出前移動展	業務担当9
				16 資料の有効的活用のための貸出	業務担当10
				17 郷土学習推進に関わる刊行物の作成	業務担当11
				2 生涯各期	2 青少年期
4 高齢期	3 ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。	03 所蔵資料を活用した地域回想法事業	業務担当13		
3 施設・機関	4 郷土資料館	1 郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料館)の継承に努めます。	01 郷土資料館の建設準備	業務担当14	
文化財担当	1 世代共通	2 芸術・文化分野	(2)町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。	01 町指定文化財指定・公開活用事業	文化財担当1
				02 埋蔵文化財保護事業	文化財担当2
				03 別海町歴史文化遺産認定・公開活用事業	
				04 奥行地区文化財保存整備事業	文化財担当3
				05 西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業	文化財担当4
				06 文化財保存活用地域計画・歴史的風致維持向上計画策定事業	文化財担当5
				17 日本遺産整備活用事業	文化財担当6

1-1-1-16				
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館	
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。			
事業名	<b>郷土資料館・附属施設加賀家文書館・豊原分館の一般公開と展示の充実</b>			
事業内容・目的	町の歴史や自然、加賀家文書等関連資料を広く展示公開し、新着資料、展示解説のリニューアル、調査研究の成果などを常設展示に反映させ、町民の学習機会の充実を図ります。			
評価指標	1.入館者の満足度（アンケートによる）2.入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）3.入館者数（豊原分館）			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	80%	80%	85%	85%	85%
目標値2	900	900	950	950	1,000
目標値3	100	100	150	150	200
実績1	93%	86%	92%	87%	82%
実績2	955	439	423	750	734
実績3	84	29	15	41	14
決算額	7335千円	3896千円	3831千円	4136千円	3749千円
評価	B	B	B	B	B

令和5年度（2023）実績

1. 入館者の満足度（郷土資料館・加賀家文書館）-82%（アンケート回答32人）
2. 入館者数（郷土資料館・加賀家文書館）-734人（個人-412人・団体-23団体322人）
3. 入館者数（豊原分館）-14人（個人-14人）

団体入館状況（郷土資料館・加賀家文書館）

月 日	団 体 名	人 数	対 応 内 容
5月27日	民生委員研修会	13	展示解説
5月31日	中春別中学校2年生	18	展示解説
6月3日	西別湿原ヤチカンパ群落地見学会参加者	12	
6月24日	ふるさと講座歴史系第2回目参加者	10	
7月25日	別海町新任教諭研修会	15	展示解説
7月28日	サマースクール参加者	5	
8月4日	ふれあいの翼一行（フォトラリー）	37	
8月31日	根室振興局	4	
9月7日	上春別中学校2年生	12	展示解説
9月8日	中春別中学校1年生	18	展示解説
9月14日	別海町身体障害者福祉協会会員研修会	4	展示解説
10月12日	（株）新日本旅行日本遺産ツアー（泉佐野市役所）	22	展示解説
11月16日	別海中央中学校特別支援学級	11	
12月6日	野付小学校5年生	13	展示解説・講話・昔の道具の体験
1月11日	ウィンタースクール参加者	7	
1月26日	野付小学校3年生	11	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月6日	上西春別小学校3年生	16	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月15日	別海中央小学校3年1組	28	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月16日	別海中央小学校3年2組	29	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月18日	ふるさと講座自然系第3回目参加者	7	
2月20日	上春別小学校3,4年生	16	展示解説・講話・昔の道具の体験
2月18日	ふるさと講座歴史系第3回目参加者	5	
3月14日	中春別小学校3年生	9	展示解説・講話・昔の道具の体験

入館者の感想-アンケートから-

●郷土資料館について

- ・別海町の歴史を様々な角度から見る事が出来て良かった。(道外・60代男性)
- ・もう少し、系統だった展示をしてほしかった。映像による説明があったら良かった。この地の生活の大変さが理解できる展示として欲しかった。(道外・60代男性)
- ・産業の歴史とともに交通や住居の展示も関連されていて大変興味深いです。(道外・60代男性)
- ・地域の子どもさん達へは授業で使える展示だと思う。全体的に見やすくならべてあるというのが印象、思ったより色々あってよかったです。(神奈川県・40代女性)
- ・熊など迫力があり、開拓時代の参考になった。大切な資料をいつまでも保存してほしい。(旭川市・60代男性)

●加賀家文書館について

- ・全てが良かった。シアターがスーッと頭に入り自分の中でまとめられたので良かった。もっとPRしないとせっかくの資料がもったいないです。(愛知県・60代男性)
- ・別海とアイヌ文化とのつながりは、今まであまりイメージになかったけれど、鮭やニシンの漁で、昔から和人が来ていたなら、当然アイヌの人たちとのつき合いは避けられないことで、その通訳をしていたというのを初めて知ってよかったです。(大阪府・50代女性)
- ・今まで知らなかったが、別海地方の過去の歴史を学べた。全部、とくに対アイヌの政策(福島県・60代男性)



町内小学校来館の様子

1-1-1-17					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	<b>広報活動の充実（ホームページ・郷土資料館だより）</b>				
事業内容・目的	町の歴史や自然及び加賀家文書に関することをホームページなどを通じ、情報の提供を行い町民の学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く） 2. 発行回数(広報べつかい版、館配布・ホームページ配信版)				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	12	12	12	12	12
目標値2	24	24	24	24	24
実績1	25	17	18	21	27
実績2	24	24	24	24	24
決算額	-	-	-	-	-
評価	A	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. ホームページ更新回数（郷土資料館だより更新を除く）-27回  
事業のお知らせや実施報告、別海町の自然などを主に掲載。
2. 発行回数-24回  
「広報べつかい版」では、事業のお知らせを主とし、「館配布・ホームページ配信版」では、町の歴史や自然に関するコラムを掲載。

1-1-1-18					
分類	1-1-1 世代共通-学習分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	いつでも、どこでも、誰でもが主体的に学ぶことのできる機会を充実します。				
事業名	<b>郷土学習の支援</b>				
事業内容・目的	町内外及び学校関係、各種団体の歴史や自然に関する調査・研究の支援を行い、情報の相互提供などを行い学習機会の充実を図ります。				
評価指標	1. 件数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	20	20	20	20	20
実績1	39	35	23	35	38
決算額	-	-	-	-	-
評価	A	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 歴史関係-36件、自然関係-3件（町内-5件、管内-5件、管外-16件、道外-11件）  
 ※来館、電話での回答や関係資料の提供を行うなど対応。

1-2-1-17					
分類	1-2-1 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさと芸術・文化を振興し、文化芸能団体活動をサポートします。				
事業名	<b>郷土研究会等の育成</b>				
事業内容・目的	町内にある郷土研究会等への指導・協力を行い、郷土研究の充実・発展を目指します。				
評価指標	1. 指導・協力回数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	24	24	24	24	24
実績1	32	24	26	46	58
決算額	-	-	-	-	-
評価	A	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 指導・協力回数-58回  
 別海町郷土研究会  
 ①「風蓮湖周辺動植物調査」（19回）（郷土資料館と協同調査）  
 ②古写真・文献デジタル化作業（39回）

1-2-3-09				
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。			
事業名	<b>郷土資料の収集・整理・保存・調査研究</b>			
事業内容・目的	所蔵資料のうち、未整理や未分類、調査研究が不十分なものに対して、資料基本台帳のデジタルデータベース化と同時進行で整理などを実施するとともに、次世代に継承しなければならない郷土資料を収集します。			
評価指標	1. 資料基本台帳登録資料数			
備考	1. 資料基本台帳登録資料数 ※令和6年3月31日現在総資料数 19,658点(平成17～令和5年度実績4,684点)			

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	200	200	200	200	200
実績1	173	222	136	153	989
決算額	52千円	71千円	46千円	28千円	14千円
評価	B	B	B	B	A

令和5年度（2023）実績

1. 資料基本台帳登録資料数-989点 （収蔵930点（考古資料）・寄贈資料分59点-計測・注記・写真撮影）
2. 資料の寄贈・収集・作成
① 寄贈資料数-59点(自然-3点、生活1-6点、生活2-19点、産業-27点、文書資料-4点)

1-2-3-10				
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。			
事業名	<b>歴史や自然に関する調査研究</b>			
事業内容・目的	町の歴史・自然に関する調査研究を計画的に進め、知られざる史実を掘り起こし、教育普及活動を通して、町民に広く公表します。			
評価指標	1. 調査件数			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	2	2	2	2	2
実績1	4	3	4	3	4
決算額	-	127千円	17千円	74千円	164千円
評価	B	B	B	B	B

令和5年度（2023）実績

1. 調査件数-4件
① 歴史-「加賀家文書等資料」の詳細調査及び解読作業
② 歴史-又十藤野家について（令和2年度から継続調査）
③ 歴史-加賀伝蔵を取り巻く周辺人物とアイヌ民族について
④ 自然-風蓮湖周辺の動植物調査（町郷土研究会協同調査）

1-2-3-11					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	ふるさと講座				
事業内容・目的	町の歴史や自然に関する講座を開設し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	89%	91%	94%	91%	94%
決算額	86千円	96千円	71千円	45千円	45千円
評価	A	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 受講者の満足度-94%（アンケート回答42人） 自然系・歴史系共に満足度の高い講座となり、大変好評だった。				
自然系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	7月8日	野付半島	「野付の高層湿原の花と野鳥の観察会」 講師：NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表 藤井薫氏	8人
②	11月18日	野付半島	「初冬の野鳥観察会-コクガンを観察しよう」 講師：NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表 藤井薫氏	7人
③	2月18日	風連湖等	「冬の野鳥観察会」 講師：NPO法人野付・エコ・ネットワーク 代表 藤井薫氏	7人
歴史系	期 日	場 所	内 容	受講者数
①	5月15日	野付半島	「江戸時代のノツケ～野付通行屋・番屋跡遺跡～」 講師：郷土資料館 副館長 石渡一人	7人
②	6月24日	奥行・上風連	「別海町歴史文化遺産を巡る（簡易軌道遺産編）」 講師：郷土資料館文化財担当 主幹 戸田博史	10人
③	2月25日	風連湖等	「「擦文・アイヌ文化～窪みが残る古代集落遺跡群を巡る～」 講師：郷土資料館 副館長 石渡一人	5人



令和5年7月8日 自然系①



令和5年11月18日 自然系②



令和6年2月18日 自然系③

参加者の感想（アンケートから）

#### 自然系①

- ・低層湿地にノハナショウブの花が咲いて、高層湿地でモウセンゴケ、ワタスゲなどの植物がある。湿原の違いで咲く植物があるということがわかった・
- ・寒くもなく、観察に良い一日でした。湿地ではミズゴケ、モウセンゴケ、ワタスゲを見れました。チョウヒ、野鳥も飛んでいました。タンチョウもいました。ありがとうございました。
- ・湿原は知れば知るほど興味深く、好きになります。懸命に生きている小さな草花、昆虫に会えてとても心がなごみました。一般では入れない奥地まで案内していただけただけで大変うれしい企画でした。ありがとうございました。

#### 自然系②

- ・シギ・チドリ類やカイツブリは、見分け方を知らないのので、教えてもらいとても助かりました。今度こそはユキホオジロ。
- ・カイツブリ等もしっかり見れて楽しかったです。
- ・初めて見れた鳥がたくさんみれてよかった。ユキホオジロは来年ぜったいみたい。
- ・初めて見れた鳥がいてよかった。鳥がかわいかった。いろんな種類の鳥が見れてうれしかった。

#### 自然系③

- ・ワシ類、小鳥、海ガモ類、まんべんなく見れて良かったです。
- ・今日は、オオワシも多く出て来てくれて、とても良い観察会になりました。
- ・説明もわかりやすく、楽しく観察できました。また参加したと思います。
- ・普段行くことのない場所で観察することができ、有意義な講座でした。今後も参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・今日は、ありがとうございました。
- ・知識が全くありませんが、鳥をじっくり直接観察するという経験をさせてもらえました。ありがとうございました。

#### 歴史系①

- ・ふだん何気なく見ているもの、何気なく見ているところ。また特別にしか入れないところ。よく見てみるといろいろな発見が出来、ありがとうございました。
- ・遠方から参加したかいのある充実した講座でした。大変勉強になり昔の野付の姿を想像することができました。このたびはお世話になりました。ありがとうございました。野付や別海の歴史に関わる他の講座にも参加してみたいです。
- ・いろいろな人とお話ししながら、ツアーできて楽しかったです。

#### 歴史系②

- ・急な出席の依頼でしたがご対応いただけましたこと、ありがたく思います。実物をただ見るだけではわからない集乳の方法や路線縮小の経緯など、とても面白く感じました。今後もこうした講座がありましたら参加してみたく思います。
- ・上風連の旧市街のことや開南の転車台など、全く知らないことばかりだったのでとても興味深い見学になりました。戸田さんの説明はもちろんなのですが、他の参加者の方から聞く昔の話も大変面白くて、本や資料からだけでは感じることはできない、実際に参加するからこそ味わえる有意義な時間、体験となりました。ありがとうございました。（ディーゼル車輛、動かせるようになったらいいですね）

#### 歴史系③

- ・中々自分の目で確認することができないものだと思っていましたが、ここまでしっかり跡として堅穴住居の姿が想像できるとは思っていませんでした。所々ご説明していただけてとても勉強になりました。また機会があれば参加させていただきます。本日はありがとうございました。
- ・今日はありがとうございました。また、このような機会があれば、ぜひ参加させていただきたいです。
- ・別海の身近な場所にたくさん遺跡があることを実感できる機会になりました。数千年の歴史が別海にあることを少しでも多くの中学生に伝えることが別海を故郷の地と思ってもらえることにつながるのので学校教育の中に取り入れていきたいと強く思いました。今後も参加したいと思いました。ありがとうございました。



令和5年5月15日 歴史系①



令和5年6月24日 歴史系②

1-2-3-12					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	<b>加賀家文書歴史講座</b>				
事業内容・目的	加賀家文書を中心とした近世江戸時代に関する講座を開設し、加賀家文書に対する理解を深めます。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	83%	94%	100%	100%	100%
決算額	-	-	-	-	-
評価	B	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 受講者の満足度-100%（アンケート回答2人）

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月28日	郷土資料館	講話「加賀伝蔵物語」・展示解説 郷土資料館 副館長 石渡 一人	2人

1-2-3-13					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	<b>特別展・企画展</b>				
事業内容・目的	調査研究の成果の公表及び所蔵されている資料を広く展示公開し、町の歴史や自然をより深く理解するための特別展・企画展を実施します。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	88%	81%	90%	68%	-
決算額	128千円	170千円	82千円	23千円	50千円
評価	B	B	B	B	B

令和5年度（2022）実績

1. 見学者の満足度-（アンケート回答無しのため実績値1は記入無しとし、評価については、担当主観で記載した。）

	期 日	場 所	内 容	入館者数
①	7月4日 ～19日 7月25日 ～8月31日	加賀家文書館	特別展「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・南摩綱紀・松浦武四郎」（A1パネル13枚）	191

1-2-3-14					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	<b>郷土学習出前講座</b>				
事業内容・目的	学校・各種団体の要望に応じて、郷土に対する理解を深めるための講座を開設します。				
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	80%	100%	100%	100%	100%
決算額	12千円	10千円	8千円	10千円	5千円
評価	B	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 受講者の満足度-100%（アンケート回答4団体）			
月 日	事業名とその内容	受講者数	担当職員等
6月14日	中央公民館上風連・中西別分館寿大学 「別海町の文化財を巡る」	7	戸田主幹
6月21・22日	別海中央中学校1年生ふるさと学習 「奥行地区文化財について」	70	戸田主幹
7月22日 ～23日	松浦武四郎inウポポイ 「加賀伝蔵物語」	40	石渡副館長
7月25日	町内初任段階教員等研修会 「「ふるさと学習」読本で学ぶ 別海町の歴史」	12	戸田主幹
7月28日	西公民館上春別分館寿大学 「文化財見学ツアー」	16	戸田主幹
7月29日	中央公民館中西別分館 「文化財見学ツアー」	14	戸田主幹
8月1日	北海道中小企業家同友会研修会	15	戸田主幹
8月3日	アドベンチャーツーリズムモニターツアー	10	戸田主幹
8月28日	上春別中学校3年生 「別海町のアイヌ文化について」	9	石渡副館長
9月8日	中春別中学校 「奥行臼について」	17	戸田主幹
9月24日	北海道まある+映画祭「縄文にハマる人々」アフタートーク 「別海町の縄文時代について」	10	石渡副館長
9月30日	松浦武四郎記念館 「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵について」	29	石渡副館長
10月16日	更別村社会教育委員研修「西別湿原ヤチカンバ群落地について」	4	戸田主幹
10月23・26日	中央公民館寿大学別海地区 「文化財見学ツアー」	37	戸田主幹
10月27日	上西春別小学校 「奥行臼について」	21	戸田主幹
11月2日	寿大学本別海・中春別分館 「文化財見学ツアー」	13	戸田主幹
12月8日	中春別小学校5,6年生 「根釧パイロットファームについて」	31	根釧PF開拓資料館青野芳樹氏
1月26日	中春別中学校1～3年生 「根釧パイロットファームについて」	37	根釧PF開拓資料館青野芳樹氏
3月23日	ロータリークラブINTER CITY MEETING 「別海のおたから」	83	戸田主幹

出前講座の感想（アンケートから）

・8/28 上春別中学校3年生

事前に学習した内容と重ならず、新しく知識が増えたことに生徒も大変満足していました。私が授業した内容よりも身近で深い学びでした。

1-2-3-15					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	<b>出前移動展</b>				
事業内容・目的	これまでに実施した特別展のパネル資料などを学校・各種団体の希望に応じて貸出し、移動展を実施することにより、町の歴史や自然を身近に感じてもらいます。				
評価指標	1. 見学者の満足度（アンケートによる）				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	86%	88%	84%	84%	83%
決算額	-	-	-	-	-
評価	B	A	B	B	B

令和5年度（2023）実績

1. 見学者の満足度-83%（アンケート回答5人）		
期 間	事業名と内容	備 考
7月22日 ～23日	ウポポイ(民族共生象徴空間)エントランス棟（白老町） 「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・南摩綱紀・松浦武四郎」	パネル13枚 加賀家文書等資料7点
9月29日 ～11月26日	松浦武四郎記念館（三重県松阪市） 「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・南摩綱紀・松浦武四郎」	パネル29枚 加賀家文書等資料12点
11月2日 ～30日	野付半島ネイチャーセンター 「根釧パイロットファーム開拓の歴史」 ※根釧パイロットファーム開拓資料館共催	パネル40枚
12月2日 ～8日	中春別小学校 「根釧パイロットファーム開拓の歴史」 ※根釧パイロットファーム開拓資料館共催	パネル40枚
12月7日 ～26日	野付半島ネイチャーセンター 「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・南摩綱紀・松浦武四郎」	パネル13枚
1月9日 ～26日	中春別中学校 「根釧パイロットファーム開拓の歴史」 ※根釧パイロットファーム開拓資料館共催	パネル40枚
2月14日 ～28日	西公民館 「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵・南摩綱紀・松浦武四郎」	パネル13枚

見学者の感想（アンケートから）

- 12/7～26 野付半島ネイチャーセンター
  - ・読み物以外に何か展示があればいいなと思った。（道内30代女性）
  - ・滋賀県人として、先達の遺された偉業に感動しています。（滋賀県65歳以上女性）
- 2/14～28 西公民館
  - ・昔、札幌で「君は道東に住んでいてクナシリ・メナシの戦いを知っているか？」と問われて、船戸与一の「蝦夷地別件」を読むように勧められ、本屋へ飛び込んだ記憶がある。それ以来アイヌの歴史に興味を持つようになった。印象に残ったのは、アイヌ同士、又は和人とのかかわり。（町内60代男性）



令和5年7月22日-23 ウポポイ



令和5年11月2日-30日 野付半島ネイチャーセンター

1-2-3-16					
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。				
事業名	<b>資料の有効的活用のための貸出</b>				
事業内容・目的	郷土資料の有効的活用を図るため、可能な限り貸出を行い、郷土学習に役立てます。				
評価指標	1. 利用者の満足度（アンケートによる）				
備考					

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	90%	100%	100%	100%	100%
決算額	-	-	-	-	-
評価	A	A	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 利用者の満足度-100%（アンケート回答5件）  
 関係機関や各団体の要望に応じての貸出であるため、件数については流動的でありま  
 す。さらなる有効的活用のための貸出を行うためには、資料基本台帳の整備及び公開が急  
 務である。

期 間	内 容	貸出資料
5月12日	北海道伝統麻栽培協議会 「北海道麻栽培に関する講演会等」使用のため	加賀家文書等資料（「加賀屋氏 大宝恵[覚帳]ヲン子ニクル新畑 作物之事」）-1点
6月26日	札幌テレビ放送 「どさんこワイド179」西別鮭特集企画使用のため	加賀家文書等資料（「加賀屋氏 大宝恵[覚帳]・絵本雑録記」）- 2点
6月19日	北海道環境生活部 「北の縄文展2023 6 Day in 札幌」展示資料として	野付通行屋跡遺跡・床丹1チャン 跡土層剥ぎ取り-写真8点
10月20日 ～24日	別海中央中学校 「縄文時代の火起こし体験」のため	火起こし器-3点
10月25日	NHK及びNHKエンタープライズ 「新日本風土記」使用のため	加賀家文書等資料（「加賀屋氏 大宝恵[覚帳]等西別献上鮭関係 資料」）-5点
11月25日	小原道城書道美術館 「南摩綱紀に関するギャラリートーク」使用のため	加賀家文書等資料（「羽峰作伝 蔵の帰省を送る詩」）-1点
12月9日 ～10日	別海だんらんの会「大きな木」 「第9回みんなの食堂まるにて「食材を知るコーナー」 に展示のため	ホタテ漁ジオラマ及びホタテ原 寸大模型-2点
12月27日	(株) JR北海道ソリューションズ 「JR北海道車内広報誌」資料として	加賀家文書等資料（「鷺羽の 函」）-1点

1-2-3-17				
分類	1-2-3 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。			
事業名	<b>郷土学習推進に関わる刊行物の作成</b>			
事業内容・目的	郷土学習推進のために町の歴史や自然、郷土資料に関わる調査・研究の成果を広く紹介するために刊行物を計画的に作成し、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図ります。			
評価指標	1. 作成件数			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	1	1	1	1	1
実績1	3	5	3	3	2
決算額	18千円	10千円	9千円	5千円	944千円
評価	C	B	B	B	A

令和5年度（2023）実績

- ①「別海町郷土資料館だよりNo.285～296」の刊行。当館、役場で配布、ホームページで掲載。（広報活動の充実と重複）  
 ②「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」300部（アイヌ施策推進事業）



「アイヌ語通辞（通訳）加賀伝蔵物語」

2-2-2-17				
分類	2-2-2 生涯各期-青少年期	担当課	郷土資料館	
推進目標	魅力ある様々な体験的学習活動を展開するとともに、他地域・異学年交流を充実します。			
事業名	郷土資料館サマー・ウインタースクール			
事業内容・目的	郷土の歴史や自然を理解する心を持たせるとともに、21世紀の別海町の未来を探究させる心を育てます。（夏休み期間・冬休み期間）			
評価指標	1. 受講者の満足度（アンケートによる）			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標値1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	97%	97%	99%	94%	94%
決算額	10千円	13千円	9千円	4千円	10千円
評価	A	B	A	A	A

令和5年度（2023）実績

1. 受講者の満足度-94%（アンケート回答10人）  
もの作りを通して別海の歴史を知ることが出来るなど好評だった。

サマースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
7月28日	郷土資料館	「大昔のべっかい 勾玉づくり」 講師 別海町郷土資料館 副館長 石渡 一人	5人

ウインタースクール

期 日	場 所	内 容	受講者数
1月11日	郷土資料館	「大昔のべっかい 勾玉づくり」 講師 別海町郷土資料館 副館長 石渡 一人	7人

○参加者の感想

- ・こんなにすごいものができるなんてうれしかった。
- ・最初は大変と思ったけど、だんだんやっているとすごく楽しかったです。
- ・お試し移住住宅の向かいだったので偶然知って参加させて頂きましたが、とても楽しく、また出来上がった作品も売れるんじゃないかぐらいの素晴らしい出来栄でとてもよかったです。次回があればぜひ、また参加したいくらいです。
- ・たのしかったです
- ・すごく楽しくて、また参加したいと思いました。



令和5年7月28日 サマースクール



令和6年1月11日 ウィンタースクール

2-4-3-03				
分類	2-4-3 生涯各期-高齢期	担当課	郷土資料館	
推進目標	ふるさとの歴史・自然・文化財への理解を深める事業を実施し、町民の愛郷心を高めます。			
事業名	<b>所蔵資料を活用した地域回想法事業</b>			
事業内容・目的	認知症を有する高齢者やその予備軍に対して、所蔵資料を活用した地域回想法への取組を目指す。			
評価指標	1. 進捗状況			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	85%	85%	90%	90%	95%
実績1	-	-	-	-	-
決算額	-	-	-	-	-
評価	C	B	B	C	C

令和5年度（2023）実績

- ・令和2年度から、町内12の高齢者福祉施設等に「別海町郷土資料館地域回想法事業貸出メニュー」を具体的に明記・周知し利用いただいている。
- ・令和5年度は、利用実績はなく、今後も積極的に周知し利用を促したい。

3-4-1-01					
分類	3-4-1 施設・機関-郷土資料館	担当課	郷土資料館		
推進目標	郷土資料館の整備・充実を図り、文化遺産(郷土資料)を継承していきます。				
事業名	<b>郷土資料館の整備</b>				
事業内容・目的	老朽化した郷土資料館・豊原分館の整備方針を策定し、計画的な整備を進めます。附属施設加賀家文書館については、計画的な改修を行います。				
備考	※下記実施計画は、予定とする。				
実施計画	R1	調査・準備（教育委員会内部検討会議）			
	R2	調査・準備（役場庁舎内検討会議）			
	R3	調査・準備（役場庁舎内検討会議）			
	R4	調査・準備（役場庁舎内検討会議）			
	R5	郷土資料館改修工事（屋根・外壁・軒天）12,859千円 加賀家文書館改修工事（屋根・外壁・屋根防水工事-長寿命化工事）14,399千円			
	R6	調査・準備・調整（教育委員会・庁舎内関係部局）			
	R7	基本構想策定（別海町郷土資料館整備検討委員会）			
	R8	基本計画策定（別海町郷土資料館整備検討委員会）			
	R9	実施計画策定・基本設計（別海町郷土資料館整備検討委員会）			
	R10	実施計画策定・実施設計（別海町郷土資料館整備検討委員会）			
年度	2019	2020	2021	2022	2023
決算額	108千円	-	-	-	27,258千円
評価	○	○	○	○	○
年度	2024	2025	2026	2027	2028
決算額					
評価					
R5年度別海町郷土資料館整備検討委員会を設置し基本構想策定を予定していたが、教育委員会内で、今後予定している事業計画等施設整備の状況を総合的に考慮し、進めることとなったため委員会については未設置である。					



郷土資料館



豊原分館

1-2-2-01				
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館	
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の実現を図り、郷土愛を育成します。			
事業名	<b>町指定文化財指定・公開活用事業</b>			
事業内容・目的	町民の文化財への理解を深めるため、町内における指定文化財の一般公開を実施するとともに、必要な整備を実施して活用を図ります。また、別海町歴史文化遺産のうち、町指定文化財としての価値のある物件を、町指定文化財に指定します。			
評価指標	1. 実施整備事業数      2. 公開上解決できなかった問題の数			
備考				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	1	1	1	3	1
目標2	0	0	0	0	0
実績1	2	1	1	3	1
実績2	0	0	0	0	0
決算額	600千円	526千円	557千円	850千円	556千円
評価	B	B	B	A	A

2023年度実績報告

野付の千島桜治療を行いました。



樹木医による千島桜の治療



野付の千島桜開花状況(5月7日)

1-2-2-02					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	<b>埋蔵文化財保護事業</b>				
事業内容・目的	町内にある埋蔵文化財包蔵地の適切な管理を継続するため、「埋蔵文化財包蔵地図」等を用い開発事業者への埋蔵文化財蔵地情報の提供に努めると共に、開発事業実施に当たっては、十分な事前協議が行われるよう調整し、その保護保存を図ります。				
評価指標	1. 不法な開発行為数				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	0	0	0	0	0
実績1	0	0	0	0	1
決算額	0	0	0	0	0
評価	B	B	B	B	C

#### 2023年度実績報告

10件の埋蔵文化財事前協議を実施しました。不法な開発行為1件は、本別海1遺跡、本別海5遺跡内で行なわれた「町有林環境保全整備事業 直接支援事業～複層林間伐工事」（事業者：別海町）です。工事途中に付き、保護対策や文化財保護法を遵守するよう指導しました。

1-2-2-03					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野		担当課	郷土資料館	
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	<b>別海町歴史文化遺産認定・公開活用事業</b>				
事業内容・目的	町内各地区の歴史や文化を物語る物件等を調査研究してリストアップし、「別海町歴史文化遺産」として認定するとともに、その公開活用を図ります。				
評価指標	1. 新規登録数 2. 公開活用事業数 3. 候補物件のリストアップ状況				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	1	1	1	1	1
実績1	1	1	1	1	2
目標2	1	0	3	1	1
実績2	1	0	3	2	4
決算額	106千円	23千円	312千円	158千円	676千円
評価	B	C	B	B	A

#### 2023年度実績報告

- ・「旧国鉄標津線平糸駅跡」「旧国鉄標津線光進駅跡」を別海町歴史文化遺産に認定しました。
- ・「旧国鉄標津線平糸駅跡」「旧国鉄標津線光進駅跡」「旧浜中町営軌道東円線上風蓮停留所」の解説看板を新設しました。「旧浜中町営軌道東円線上風蓮停留所」敷地の樹木伐採を実施しました。
- ・候補物件を 736件(2022年度まで476件) リストアップしました。



旧浜中町営軌道上  
風蓮(開南)停留所  
敷地樹木伐採状況



旧光進駅跡看板

1-2-2-04					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	<b>奥行地区文化財保存整備事業</b>				
事業内容・目的	旧奥行臼駅通所他、奥行地区に集中している文化財の総合的な保存整備を進め、観光資源としての活用を図ります。				
評価指標	1. 旧奥行臼駅通所の入館者数 2. 総合的保存整備の進捗状況				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標1	1,600人	1,700人	1,800人	1,900人	2,000人
実績1	3,288人	1,242人	1,575人	1,940人	2,413名
決算額	4,378千円	1,987千円	6,511千円	11,311千円	17,236千円
評価	A	C	B	A	C

### 2023年度実績報告

- ・5月1日から11月3日まで奥行地区文化財の一般公開を行いました。旧奥行臼駅通所の入館者数は2,413名(昨年比473名増)でした。
- ・奥行臼散策デーを開催しました(123名参加)。
- ・冬の奥行臼散策デーを開催しました(17名参加)。
- ・夏休みトロッコサンデーを開催しました(621名参加)。
- ・村営軌道風運線車両の塗装修繕工事を実施しました。
- ・奥行臼史跡公園整備基本計画策定に向けて、史跡旧奥行臼駅通所整備検討委員会を3回開催し、ワークショップ(16名参加)を開催しました。
- ・奥行臼史跡公園整備基本計画案を作成しました。



夏休みトロッコサンデー



奥行臼散策デー



史跡旧奥行臼駅通所整備検討委員会



ワークショップ

1-2-2-05					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	<b>西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業</b>				
事業内容・目的	保存のための調査・モニタリングを継続して行い、西別湿原ヤチカンバ群落地の国指定天然記念物指定を目指します。国指定後は、抜本的な保存事業を実施するとともに、公開活用を図ります。				
評価指標	1. 保護区域内での不法な採取の件数 2. 国指定の進捗状況				
備考					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画	○	○	○	○	○
目標 1	0	0	0	0	0
実績 1	0	0	0	0	0
決算額	2,525千円	3,924千円	2,438千円	505千円	753千円
評価	A	A	A	A	A

#### 2023年度実績報告

- ・令和6年2月21日に「西別湿原ヤチカンバ群落」が国の天然記念物に指定されました。
- ・西別湿原ヤチカンバ群落地保護対策検討委員会を1回開催し、保存活用計画の検討を行いました。
- ・見学会を実施しました（12名参加）。
- ・指定報告会を実施しました。
- ・水位モニタリングを実施しました。
- ・帯広畜産大学にヤチカンバ生育地調査研究を委託しました。



保護対策検討委員会



指定報告会

1-2-2-06					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	<b>文化財保存活用地域計画・歴史的風致維持向上計画策定事業</b>				
事業内容・目的	文化財保護のマスタープランである文化財保存活用地域計画を策定し、この構想を踏まえて「歴史まちづくり法」に基づく歴史的風致維持向上計画を策定する。				
評価指標	1. 構想・計画策定の進捗度				
備考	2022-24年度に文化財保存活用地域計画を策定し、2025年度に歴史的風致維持向上計画策定を開始する。				

年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画				○	○
目標 1					
実績 1					
決算額				7,633千円	5,957千円
評価				B	B

### 2023年度実績報告

- ・別海町文化財保存活用地域計画策定協議会を3回開催し、計画作成を進めました。
- ・文化財バスツアー時に聞き取り調査を行いました。
- ・町民ワークショップを開催しました（参加者9名）。



文化財保存活用地域計画協議会時



ワークショップ時

1-2-2-17					
分類	1-2-2 世代共通-芸術文化分野	担当課	郷土資料館		
推進目標	町の歴史的遺産や文化財を適切に保存するとともに、歴史・自然・文化財を学ぶ機会の充実を図り、郷土愛を育成します。				
事業名	<b>日本遺産整備活用事業</b>				
事業内容・目的	日本遺産「鮭の聖地」の認知度の向上させるために情報発信や普及啓発を行い、町内にある構成文化財の観光資源としての活用を図る。				
評価指標	1. 当該年度実施予定各種事業の実施状況				
備考	根室管内1市3町から成る協議会「鮭の聖地メナシネットワーク」が実施。				
年度	2019	2020	2021	2022	2023
実施計画			○	○	○
目標1					
実績1					
決算額			626千円	3,533千円	200千円
評価			B	B	B

### 2023年度実績報告

- ・旧開拓使別海罐詰所と奥行臼駅調査報告書を発行しました。
- ・1市3町ごとにオリジナルカプセルトイを制作しました。
- ・ゆかりの地展示会として、松浦武四郎記念館とウポポイで普及啓発展示会・講座を実施しました。
- ・「吉田類の北海道ぶらり街めぐり」で別海町の構成文化財が紹介されました。
- ・日本遺産フェスティバル（東京都八王子市）と日本遺産の日イベント（東京有楽町）に出展・参加しました。



普及啓発展示会「メナシのアイヌとともに生きる～加賀伝蔵、松浦武四郎、南摩綱紀～」(於:ウポポイ)